

きんもくせい

病院だより

vol.123

令和5年
9月号



10周年、そして未来へ

見えにくくなってからでは手遅れに 緑内障の早期発見と早期治療を！



▲ 手術をする眼科医

視野が欠け、最終的には失明する恐れがある緑内障。

私たちは両眼で物を見ることが多く、片眼で物を見ることはあまりありません。そのため、片方の視野が欠けていても、もう片方で視野を補うため、視野が欠けていることに気付かないことが多くあります。また、視力に関わるのは真ん中の部分のため、周りの視野が欠けていることにも気付きにくいです。さらに緑内障はゆっくり進行する病気であるため、初期に自覚症状を感じにくく、これが、緑内障の怖いところです。

40歳以上の20人に1人が緑内障と言われています。一度現れた視野障害は治ることはありません。見えにくくなってからでは手遅れです。定期的に検診を受け、緑内障の早期発見に努めましょう。また、検診で「緑内障疑い」と言われた場合は、すぐに眼科を受診してください。

今月号は、緑内障とその治療について、眼科医が解説します。

緑内障について

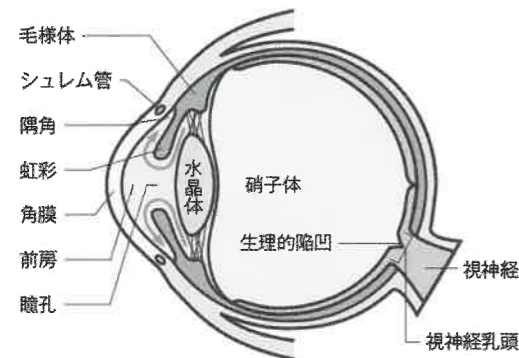
眼科医長（診療科長） **宇佐美 貴寛** 医師

どのような病気か

緑内障は決して珍しい病気ではありません。日本国内の有名な疫学調査では、40歳以上の4,000人を抽出して調査したところ、20人に1人（5%）が緑内障であったことが明らかになりました。さらに緑内障と診断されたうちの89.5%が調査されるまで未発見の状態でした。つまり非常に頻度の高い疾患であり、多くの方が気付かないうちに発症し、進行しうる疾患であるとわかります。

病気の発症、進行には眼圧が大きく関わります。眼球内の前方の空間には房水と呼ばれる液体が循環しています（図1）。房水の産生量、排出量のバランスによ

目の水平断面図（各部の名称と房水の流れ）



▲ 図1 房水の流れ

り房水量や眼圧が決まります。産生量が大きく変わるとは通常ありませんが、排出量が下がってくると眼内に存在する房水の量が増えて眼圧が上昇します。眼圧に応じた力で眼球の奥にある網膜という光を受け取る部位は圧力を受けており、耐えきれない圧力で押されていると徐々に障害を生じます。障害に応じて視野障害が出現しますが、一番恐ろしいことは現在の医学では網膜の障害を回復する手段がないことです。つまり緑内障による視機能障害は回復することができず、治療はとにかく眼圧を下げて病状の進行を食い止めることです。

治せない疾患であることから、治療開始時の状態が将来の視機能を大きく左右します。早期発見、早期治療が非常に大切な疾患であり、タイミングを逃さず治療をしていく必要があります。

早期発見方法について

緑内障は病型によりますが、基本的にゆっくりと進行する疾患です。自覚症状が出る状態では病期が進んだ状態になります。人間ドッグでは眼圧計測に加えて眼底写真があり、ほとんどの緑内障は見つかります。

ただし日本人に多いタイプの緑内障は正常眼圧緑内障といい、眼圧が正常範囲（10～21mmHg）にも関わらず発症する緑内障が多いため、眼圧が正常でも安心はできません。眼底写真で視神経乳頭という緑内障の変化が大きく出る部位を撮影できます（図2、図3）。



▲ 図2 正常な眼底写真



▲ 図3 異常な眼底写真（視神経乳頭陥凹拡大）

検診結果では視神経乳頭陥凹拡大と記載されることが多いですが、緑内障の疑いがあるという意味ですので、この指摘をされた時には必ず眼科受診を検討してください。

緑内障の中には閉塞隅角緑内障といって急に眼圧が上昇するタイプがあります。発作的に発症する可能性があるため、人間ドッグでは判断できず、偶然眼科受診し、眼科医の診察を受けることで発見されるしか方法がありません。一概には言えませんが、緑内障発作は中年以降の小柄な女性に起こりやすい疾患です。多くの場合は発作的に眼が重くなる様な自覚症状を頻発しますが、心配であれば一度眼科クリニックで相談することをおすすめします。

緑内障の治療について

緑内障の視機能障害を回復することはできないため、治療はとにかく眼圧を下げることにあります。点眼薬が第一の治療であり、様々な点眼薬が存在します。そのため眼圧や視野状態を見ながら、点眼薬を変更したり、追加したりして管理します。点眼をしても見えやすくなるわけではありませんが、必ず回数を守って使う必要があります。

点眼治療を強化しても緑内障の進行が食い止められない場合には手術による治療が考慮されます。視野障害の程度や眼圧、年齢等様々な要素を考慮して適切な手術法を選択します。最近では負担の少なく行える低侵襲緑内障手術があり、以前よりも手術適応は増えています。

閉塞隅角緑内障に対しては点眼薬で緑内障発作を確実に予防することはできません。レーザー手術や白内

障手術が緑内障発作予防に有用であり、各治療のリスクやメリットを考えながら治療を選択する必要があります。

当院の眼科の強み

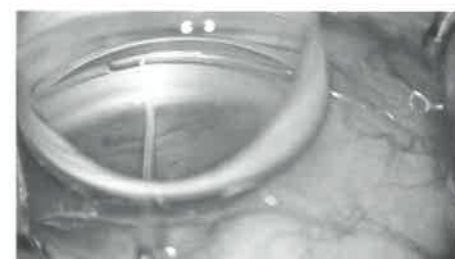
当院の強みとしては一通りの緑内障手術を行えることと、積極的に低侵襲緑内障手術を行っていることがあります。

低侵襲緑内障手術の中心は白内障手術と同時に行うiStent（図4）という手術を行っており、件数は静岡県内でも上位です。それ以外にも病状に合わせて、線維柱帯切開術（眼内法、図5）を行っています。手術後に必ず緑内障点眼を不要にできるわけではありませんが、複数の点眼が必要だった方にとって本数が減らせて今までと同等以上に管理できることが多いです。

従来から行われている線維柱帯切除術も当然行って



▲ 図4 iStent



▲ 図5 線維柱帯切開術



▲ 図6 プレートインプラント

看護部通信

不安に寄り添う丁寧な看護で安心感を

当院では年間約2,000件もの眼科手術を行っており、手術の対象になる病気は、白内障や緑内障、網膜剥離など様々です。手術方法がそれぞれ異なるため、安全に手術ができるように患者さま一人一人の情報をしっかり確認し準備を行い、丁寧な説明を行うよう心掛けています。

入院後、まず、手術前後の流れや注意点などを説明します。初めての手術で不安がある方も多いため、丁寧に説明することを心掛けています。

眼科手術では、手術2時間前から15分おきに瞳孔を拡げる薬を点眼します。これは手術前の重要な準備の一つです。ご自身での点眼が難しい方は、看護師がお手伝いしています。

手術室にご案内する前には、安全な手術実施のために、患者さまの本人確認や手術部位の確認を看護師2人で行っています。

手術終了後、1時間はベッド上で安静にいただき、1時間後に血圧測定や歩行の可否、問診などで患者さまの状態を確認しています。高齢の患者さまや、他の病気を持っている方もいらっしゃるため、手術部位の出血や疼痛、頭痛、吐き気の有無などの症状はもちろん、様々な視点で状態を確認しています。

手術翌日からは3種類の目薬を1日3回実施します。これは手術後に感染などを起こさないためにもとても重要です。薬剤師が患者さまに正しい点眼方法を説明します。必要な場合は退院時にご家族への説明も行っています。

丁寧な説明と寄り添った看護で手術入院される患者さまやご家族の不安や心配な気持ちを少しでも和らげることができるよう、努めていきます。

7階東病棟 内田 康介



▲ 点眼を介助する様子

第40回 医療市民講座のご案内

心臓をテーマに医療市民講座を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 令和5年11月11日(土)
午前10時～正午(受付9時30分～)

場所 当院 敷地内薬局2階 会議室

- 議題**
- ①「知っていますか?心不全のこと
～もうひとつのパンデミック～」
循環器内科診療部長 高山 洋平 医師
 - ②「楽しくできる!
心臓と体をよくするリハビリテーション」
リハビリテーション科部長 渡邊 浩司 医師

入場料無料

定員100名(予約制・先約順)

申込み 9月19日(火)～11月10日(金)
ホームページ専用フォーム、
または問い合わせ先へ電話、
FAXのいずれか。

問い合わせ 経営戦略室
電話: 0537-21-5555(代)
FAX: 0537-28-8971(代)



▲詳細はこちら

当院では職員を募集しています!

当院では様々な職種の職員を募集しています。
医療のプロフェッショナルとして、ともに高みを目指す、そんなみなさんからの応募をお待ちしています。

現在募集中の職種

正規職員

看護師(経験者)、薬剤師、臨床検査技師、
理学療法士(経験者)、作業療法士(経験者)、
言語聴覚士、事務職員、社会福祉士(MSW)

会計年度任用職員(非常勤職員)

薬剤師、看護師、視能訓練士、
メディカルエイド、医師事務作業補助者



▲薬剤師



▲看護師



▲メディカルエイド



▲詳細はこちら

東海アクシス看護専門学校 令和6年4月採用看護学校教員募集

募集内容

職種	採用人数	申込締切日	試験日	採用時期
実習指導教員	1人(成人・老年看護又は 地域在宅看護実務経験者)	11月20日(月)	応募者に 後日連絡	令和6年4月
看護教員				

◆詳細は同校ホームページを
ご覧ください。



試験内容

作文試験 職務遂行に必要な見識、判断力、表現力等についての記述式の試験
面接試験 個別の面接試験

受付期間

令和5年7月21日(金)～11月20日(月)

問い合わせ

東海アクシス看護専門学校 総務課庶務係
電話: 0538-43-8111 FAX: 0538-43-8122
〒437-0033 袋井市上田町267-30



7月の 診療実績

1日あたりの患者数	入院	393人	病床利用率	78.6%
	外来	1,194人	平均在院日数	8.9日
	紹介率	87.1%	手術件数	537件
逆紹介率	101.5%	救命救急センター受診者数	1,653人	
		救急搬送件数	665件	



病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 **中東遠** 🔍 検索



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
TEL 0537-21-5555



日本医療機能評価機構
認定第JC2093号

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください